

株式会社 品川工業所

奈良県
磯城郡田原本町八尾508



代表取締役
品川 士郎

1956年(昭和31年)設立
0744-32-4055

<http://www.qqqshinagawa.co.jp>

混練しつつ造粒する 革新的な造粒機 「トリプルマスター」

従来の造粒法では困難な処方方を、極めて短時間、かつ高効率に造粒する新しいコンセプトの造粒機を開発。

高速混練造粒機「トリプルマスター」の開発

同社は、明治43年の創業以来90年余りにわたり、パン・菓子などの食品加工機械の開発、製造、販売事業を展開。この間に蓄積した混合、攪拌、濃縮などの技術ノウハウを応用することで、医薬業界の抱える課題・問題を解決する高速混練造粒機「トリプルマスター」を開発した。

高速混練造粒機「トリプルマスター」の新規性

難水溶性薬物などの付着性の強いものを造粒する場合、薬物が容器へ付着する問題があったが、本造粒機では、攪拌駆動部が上部にあるトップドライブ方式を採用し、攪拌羽根を公転しつつ自転する遊星運動をさせることにより、デッドスペースのない状態で造粒を行なうため、容器への付着を大幅に軽減出来る。

また、3軸独立駆動(公転・混練・解砕の回転比率変更可能)により、無限の攪拌軌跡を選択することが可能で、混練・解砕効果を自由に調整出来、密度や溶出速度の調整が可能である。

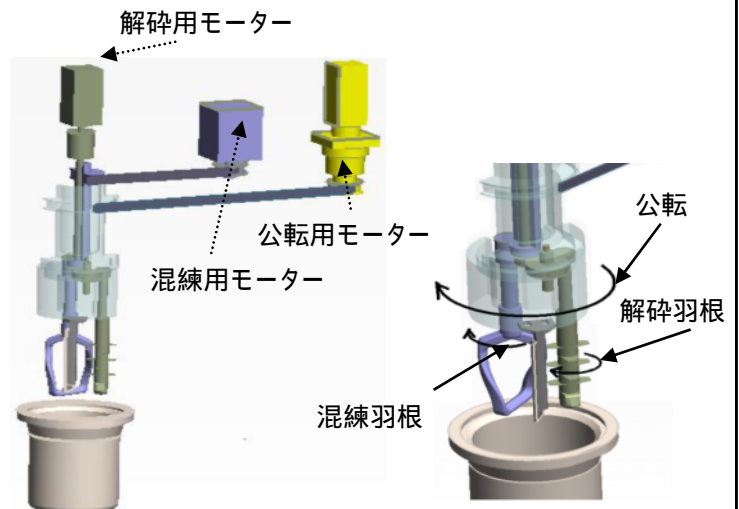


高速混練造粒機「トリプルマスター」

今後の展開

現状の1ℓ・5ℓ・30ℓ・60ℓ機に加え、生産機としての今後のスケールアップとして120ℓ~300ℓ機までの製造を検討している。

高速混練造粒機「トリプルマスター」の認知度を高めるため、研究開発用の小型機(1ℓ・5ℓ機)の普及に努め、新薬の生産設備、また既存機械の置き換え等に対応し、大型機の普及を進める予定。



3軸独立駆動方式(公転しつつ自転させて混練と解砕を同時に行わせる)